

短 報

肉用鶏に発生した十二指腸の線毛性前腸性嚢胞

阿部増美 茂木洋子 金子和華子 清宮幸男[†]

(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター (〒020-0851 盛岡市向中野 5-28-27)

(2024 年 9 月 5 日受付・2025 年 1 月 9 日受理・2025 年 3 月 27 日公開)



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/78/3/78_e44/_article/-char/ja

要 約

十二指腸の線毛性前腸性嚢胞 (CFC) に罹患した 48 日齢の肉用鶏 1 例を病理学的に検索した。長径 70 mm の楕円球状嚢胞が十二指腸の下行部近位及び上行部遠位に密着して同臓器を圧迫していた。嚢胞は単房性で、内腔に淡黄色粘液を満たしていた。嚢胞の漿膜が肥厚し、黄褐色乾酪化巣の散在を伴っていた。組織学的に、嚢胞壁は内張り上皮、上皮結合組織、平滑筋及び線維性被膜により構成され、内張り上皮は杯細胞及び粘液腺の散在を伴う偽重層線毛円柱上皮であった。得られた成績から、十二指腸の CFC と診断した。併発病変として嚢胞の慢性化膿性漿膜炎及び異所性腺並びに嚢胞に近接する小静脈の線維素性血栓が観察され、嚢胞の解剖学的位置と漿膜炎並びに嚢胞の大きさと血栓の関連が推測された。本例は鶏における十二指腸の CFC の初報告である。

——キーワード：肉用鶏，線毛性前腸性嚢胞，十二指腸。

----- 日獣会誌 78, e44～e50 (2025)